

1. 空港のコンセッションを中心とした航空政策の主要課題とその展望について
2. 福岡空港の取組み

日時：7月14日(火) 16:50-18:35 (5限)

オンライン講義によるライブ実施

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、以下のお二人からお話を伺います。

1. 平岡成哲 国土交通省航空局航空ネットワーク部長

航空は経済産業活動や国民生活を支える基盤であり、航空行政当局としては、観光先進国の実現や2020年東京オリンピック・パラリンピック等に向けて、技術革新を航空分野に取り込んだ安全で利便性の高い航空ネットワークの実現を目指し、首都圏空港をはじめとする各空港の機能強化、空港のコンセッションの推進、地方航空ネットワークの強化等の取組を推進してきました。今後2020年度以降に向けて、航空需要の更なる高まりやアジア圏の経済成長・人口増加の取り込みのため、航空ネットワークの強化・さらなる成長を図る必要があるほか、自然災害等の多発化や被害の激甚化・多様化への対応など大規模自然災害等への対応、脱炭素社会の実現及び航空需要の高まりに伴う人材不足の一層の深刻化への対応等が必要となっています。本講義では、こうした社会情勢、自然環境の急激な変化に対応した航空政策の主要課題と対応について、空港のコンセッションを中心に講義を行い、今後の展望について考察します。

2. 永竿哲哉 福岡国際空港株式会社 代表取締役社長執行役員

発着回数、利用者数ともに羽田、成田、関西に次いで国内4位の規模である福岡空港の概要を説明するとともに、空港運営開始(2019年4月)以降に取り組んできた利用者の利便向上を目的とした施策や旺盛な航空需要を踏まえた今後の取組みについて紹介し、コンセッションによる空港運営について考察を深めます。

※オンライン授業URLは授業開始前にUTASで確認すること。資料はITC-LMSにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に事前配布する。
※授業の実施形式に変更ある場合にはHPにおいて周知するので注意すること。

－問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp－



国土交通省航空局
航空ネットワーク部長
平岡 成哲 氏



福岡国際空港株式会社
取締役社長執行役員
永竿 哲哉 氏